

地域の小さな声を聴く力。公明党

令和2年第3回定例会での公明党代表質問

特別定額給付金事務の検証について

新型コロナによる特別定額給付金事務は不十分な執行体制により給付に想定以上の時間を要した。今後の大災害などに備え委託業務や職員体制の課題を総括せよ。

【答弁】 突発的な業務の迅速かつ的確な処理に向け、検証していく。

国や都と連携した検査体制の拡充について

区が提案する「社会的検査」という枠組みが、区民の混乱を招いている。国や都と施策や対象が重複しないよう緊密に連携を図り、状況に即した最善策を講じよ。

【答弁】 実効性を図るため重複せず相互に効果を発揮する体制で行う。

介護現場などの感染症対策の強化について

感染予防の知識が乏しいため、手探りでの新型コロナ対策に不安を抱いている介護事業者は多い。施設に医師を派遣する感染症対策アドバイザー事業を充実せよ。

【答弁】 感染症管理認定看護師をアドバイザーに起用する。

区内事業者への経営支援拡充について

コロナ禍により、飲食店や介護事業所など様々な業種が苦境に直面している。業種や業態に応じた経営支援などを一層拡充せよ。

【答弁】 事業者の声を聞き必要に応じて業種特有の支援策を講じる。

風水害対策への助成制度創設について

コロナ禍の風水害対策では避難所での感染予防の点から在宅避難の重要性が高まっている。止水板や排水ポンプの設置など自助による対策への助成制度を設けよ。

【答弁】 元年の台風19号の被害状況や教訓を踏まえ検討する。

仮称せたがやペイの元金保証について

電子商品券仮称せたがやペイは上乗せ率が30%と高いため、地域経済の浮揚が期待される。多くの区民に利用されるよう、購入元金分は無期限で保証せよ。

【答弁】 様々な電子決済の使用期限を参考に調整していく。

障害者施設の着実な整備について

区は2030年までに障害者通所施設で約560人分の不足を見込むが、施設整備の目標や手法が未確定だ。都営住宅改築で創出される用地などを活用し、着実に整備を進めよ。

【答弁】 年次ごとの整備目標を示し、確実な整備に取り組む。

教育総合センター設置の意義について

区が設置予定の教育総合センターについては、我が党が求め続けてきた新たな教育研究機関の開設という機能が抜け落ちている。改めて設置することの意義を示せ。

【答弁】 現場の教職員を支えるバックアップ機能などの展開を図る。

あなたのために！ 働きます！

不登校の子どもへの教育機会確保について

区立校で導入された学習支援アプリは主体性を育む授業を行える上、教員と生徒との交流が活発になるため、不登校児童生徒の学習に有効だ。積極的に導入せよ。

【答弁】 早急にオンラインでの学習支援を全校に広げたい。